

## 57年度 クロメ増殖試験—1

竹内四郎

クロメは、カジメ属の海藻で、本県沿岸全般に見られるが、アワビ、サザエの餌料として重要なものであり、増殖を目的とする採苗について試験を行なった。

### 試 験 方 法

57年10月29日（水温20.5℃，天候B）に、3時間陰干したクロメ母藻10株を用い、0.5tパンライト水槽に海水を入れその中にワカメ採苗用の枠（種糸100m）を60分浸漬した後取揚げ、コンクリート水槽に収容して採苗した。

### 結 果

12月7日（17.3℃）第2磷酸ソーダ（ $\frac{1}{5}$ 万）硝酸カリ（ $\frac{1}{1}$ 万）を施肥し、少量宛の注水を継続したところ、58年1月中旬肉眼的大きさ（2～5mm）になり、その後第1表のような成長を示した。2月には2～3.5cm、3月には3～5cm、4月に7～12cm、5月に12～16.5cm、6月に12～30cm、7月13.8～30cmに達した。その後夏には先枯れが目立つとともに離貝の付着が急に多くなってくる一方、成長も遅くなるよう

表1 成長度（月別）

調査日	水温	成長度	備考
58. 2. 2	13.4℃	2.0～3.5	
58. 3. 7	12.5	3.0～5.0	
58. 4. 1	13.3	5.5～10.0	
58. 4. 21	14.7	7.0～12.0	
58. 5. 21	17.3	11.7～16.5	
58. 6. 3	19.3	12.0～30.0	先枯れ
58. 7. 12	22.3	12.5～30.0	先枯れ 離貝

な傾向がみられた。最大成長個体の1日当りの成長は、0.45mm、3～4月は、1.56mm、4～5月間は、1.5mm、5～6月は、10.38mm、6～7月は0となり、最小個体では、2～3月が、0.3mm、3～4月が0.89mm、4～5月が1.57mm、5～6月が0.23mm、6～7月が0.13mmとなっており、3～5月までの成長が大きかった。この間に6月上旬、水温20℃越える頃から先枯れ現象が現われ、6月中～下旬から離貝の付着が、全個体に出現してきた。以上は室内水槽での実験結果であり、今後は天然漁場への移殖について実験を行なうとともに、貝類、魚類等による食害防止方法等についても併せて研究を継続してゆく。この間の成長については、屋外実験に少々劣るが大差<sup>①</sup>はみられない。

## 要

## 約

- ① クロメの採苗及び成長について、57年10月から58年7月まで、室内水槽で実験した。
- ② 5～7月に成長が速く、屋外試験の結果と似かよっている。

## 文

## 献

- 1) 山口県：長門海域総合開発調査報告書 昭和56年3月